

## ◎ 定例会 見学体験②「大宮 盆栽村 見学」

2月1日(水) 晴れ 参加者20名(うち体験参加等3名)



各地で豪雪に見舞われた今年の冬ですが、この日はラッキー、風がなく陽が射す冬晴れの天候に恵まれました。西武池袋駅に16名、JR土呂駅に4名、合せて20名(男性12名、女性8名)が集まり、予定通り11:00に土呂駅前を出発しました。大宮盆栽村は緑豊かな大宮公園の北側にあり、JR宇都宮線と東武アーバンパークライン(野田線)とに囲まれた一画で、盆栽の聖地として世界的に知られています。かつて東京の団子坂(千駄木)周辺に大名屋敷があり、ここに庭造りの植木職人が多く住んでいて、明治になって盆栽専門の職人も生まれました。大正12年(1923年)の関東大震災をきっかけに、盆栽の育成に適した土壌を求めて移住

が始まり、大正14年に「大宮盆栽村」が誕生しました。都心では排気ガスで盆栽が黒ずんでしまう心配がありますが、ここは空気が綺麗で、大宮公園にある氷川神社の地下水は絶えたことが無く、盆栽に適した赤玉土が採れるという好条件が揃っています。昭和3年、盆栽村移住の条件として、どの家も盆栽を10鉢以上育て、垣根は生垣とする、門戸を開放する、2階建ては建てない、という定めがありました。今はそんな掟はありませんが、駅のある土呂町から盆栽町に入ると街の雰囲気が一変し、優雅な盆栽村の趣を楽しむことができます。



予約した見学先の盆栽園は、盆栽を保護するため1回の見学人数15名以内という制限があったので、今回A班B班の2つに分けて盆栽園、盆栽レストラン、盆栽美術館を廻ることにしました。

A班 : 盆栽園めぐり → 盆栽レストランで昼食 → 盆栽美術館。

B班 : 盆栽レストランで昼食 → 盆栽園めぐり → 盆栽美術館。

盆栽美術館は人数制限が無いので全員一緒に見学しました。

◎盆栽園めぐり。

盆栽村には現在7つの盆栽園があり自由に入園して見学することができます(ただし木曜日は休み)。その1つ「清香園(せいこうえん)」で盆栽の鑑賞方法など初心者むけの説明を受けました。

- ・盆栽は大自然の風景を一本の木で表現します。
- ・見てきた山の風景、森や林や大樹を盆器の上に再現します。

- ・枝が細かく、根元が太い木を使って、風景画を描くように、大木を小さく美しく凝縮します。
- ・枯れて白く残った幹や枝も使って、渓谷や断崖絶壁で厳しい風雪に淘汰された、生きぬく生命力を表現します。

盆栽をみる時は、ひざを曲げて腰を落として下から見ます。

しゃがんで見上げると、1mに満たない木に、大樹の姿を観ることが出来ます。

清香園で20~30分説明を受け園内の盆栽を鑑賞した後、盆栽村を歩きながら各班それぞれ気の向く盆栽園を見て回りました。盆栽村は閑静な住宅街で、「もみじ通り」「けやき通り」「かえで通り」など名前の付いた道は、車も人通りも少なくゆったり散策できます。石畳の遊歩道を歩いていくと、どの家の庭も手入れが行き届き、紅梅やロウバイが咲き、竹林やガーデンアーチを造り、綺麗に剪定された枝ぶりの植木や生垣が目を引きました。見て歩くのは良いけれど、ここに住んだら大変だなあと感じました。

◎盆栽レストラン大宮で昼食。

盆栽村の最寄駅はJR土呂駅と東武線大宮公園駅ですが、どちらの駅前にもランチが出来る店が少ないのが難点です。盆栽村を訪れる国内外の盆栽愛好家や観光客に、休憩し飲食が出来る場所を提供するため、盆栽用品の輸出業を営むオーナーが、平成26年(2014年)に「盆栽レストラン大宮」をオープンしました。今回は事前に予約した2つのメニューでランチタイムを楽しみました。

① 盆栽御膳 : 刺身、フライ、鶏しんじょう、豚の角煮、デザート、ソフトドリンク付。

② 盆栽パンセット : よもぎアンパン2個、貝たくさんミニスープ、サラダ、ソフトドリンク付

A班は主に①盆栽御膳を、B班は主に②盆栽パンセットを注文しました。苔を模したパンの②盆栽パンセットは、お腹にも満足感があり、苔玉のお土産も付いてお得感があったようです。

◎大宮盆栽美術館見学。



ここは平成22年（2010年）に開館した世界初の公立盆栽美術館で、120点以上の名品盆栽の中から常時約60点の盆栽を展示しており、美術館の中庭の盆栽庭園では樹齢百年千年の盆栽を鑑賞し、撮影することが出来ます。



- 推定樹齢1000年の蝦夷松。蝦夷松（えぞまつ）は寒い気候で育つため葉が短いのが特徴です。千年の歳月で太い幹が割れ、枯れた白い木肌をむきだし、青空に向かって枝を広げ、可愛い松の葉を沢山付けていました。

- 推定樹齢800年の真柏。真柏（しんぱく）は檜（ひのき）の仲間で、松と共に生命力が強い常緑針葉樹です。苔から立ち上がる太く迫力ある幹がうねって捻じ曲がり、枯れた白い木肌と生きぬ

く幹がうす巻く模様を描き、伸びる枝に緑の葉が広がって、冬空の下で厳しい自然の風雪に耐える姿をみせてくれました。

- 推定樹齢180年の野梅。

野梅（やばい）は梅の中でも原種に近い品種です。枝は細かく、樹齢は若くても、幹は老木の如く年取った木肌なので、盆栽の世界では古さを感じさせる重宝で便利な梅で、白い花を付けていました。

冬晴れの青空の下、盆栽美術館で集合写真を撮影した後、半分の参加者はお土産の苔玉を手にして、15:00頃みな土呂駅から帰途につきました。ゴールデンウィークには「大盆栽まつり」が盆栽村で開催され、全国から盆栽の素材、盆器、山野草の販売業者が集まり所狭しと出店し、国内外から大勢の人が訪れます。賑やかで活気ある盆栽村を楽しむのも又一興です。



「推定樹齢1000年の蝦夷松」

<報告：宇敷辰男>